

平成27年7月9日に日本政府の「草の根・人間の安全保障無償資金協力」の枠組みによる以下の供与式が高橋大使およびフセイノフ・マサリ地区行政長が出席して実施されました。

「マサリ地区ごみ処理システム改善計画」（供与金額101,551米ドル）

ごみの増加が社会問題になっているマサリ地区マサリ市及び周辺4村（セイベティン村，サミドハンリ村，オンジャカラ村，ボラディガフ村）を対象に新しいごみ処理場を建設しました。適切な処理によりごみが軽減し，資源回収およびリサイクルシステムが構築され，地域の生活環境および公衆衛生が向上しました。

アゼルバイジャン語での高橋大使の挨拶



式典に出席したマサリ市住民



ごみ処理施設



ごみの分別作業の様子

